

SNSを活用した情報発信と市民意見の収集

目的

次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関して、必要な情報を発信し、市民や事業者の意見をより多く把握し、反映していくため。

実施期間

次期青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定が完了するまで。
(総合戦略推進に適していると判断した場合は、引き続き実施することも想定している。)

なぜSNSなのか

多様な世代、職種の人々へリーチが可能。
これらの人々から、多くの意見収集が期待できる。

利用するSNS

- ・Facebook (長文投稿、ファイル添付に向いている。30代～40代の利用者が多い。)
- ・Twitter (短文投稿に向いている。10代～20代の利用者が多い)



ターゲット

- ・20代から40代前半の市民(特に子育て世代)
- ・事業者

狙う効果

- ・青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略や市の課題へ、もっと関心を持ってもらうこと
- ・市の課題に対して、多様な方々から、多くの意見を出してもらうこと